



Facebook 配信中!
今すぐアクセス!!



第45号

平成29年2月15日発行

まきのほら 議会だより

静岡県牧之原市議会



- 坂部保育園の指定管理を否決(12月定例会)
- 市長に2件の提言書を提出
- 8議員が市長と激論!!(一般質問)

『滝堺古城跡から望む』
今井 一光さん(波津区) 撮影

坂部保育園の指定管理を否決！ 総合観光センターには附帯決議

12月定例会

12月2日～12月22日

提出件数				
議案(予算)	議案(条例)	議案(その他)	諮問	専決
1	6	6	—	—
認定	同意	報告	議員議案(条例)	請願決議意見書
—	—	—	—	3

定例会では、議案13件が提出され、12件が可決、1件が否決されました。また、総合観光センターの指定管理については、附帯決議が付されました。(内容はP7参照)

坂部保育園の指定管理については、付託先である文教厚生委員会では可決されたものの、本会議では賛成・反対それぞれ2人ずつの討論が行われ、採決の結果、賛成少数で否決されました。これにより、坂部保育園の指定管理については白紙となりました。

件名	結果	概要
子補正 議案(予算) - 平成28年度一般会計補正予算(第4号)	可決	3億1,431万4,000円増額し、予算額を200億8,306万8,000円とするもの。
他その 総 静岡市町総合事務組合理約の一部を変更する規約について	可決	「富士山南東消防組合」を構成団体として加えるもの。
条 例	文 税条例の一部を改正する条例	可決
	文 国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決
	文 いじめ問題対策連絡協議会等設置条例の制定について	可決
文 いじめ問題再調査委員会条例の制定について	可決	
他その 総 指定金融機関の指定について	可決	静岡銀行を次の指定金融機関として指定するもの。
指定管理	文 指定管理者の指定について(牧之原市立坂部保育園)	否決
	総 指定管理者の指定について(牧之原市総合観光センター)	可決
	文 指定管理者の指定の期間の変更について(デイサービスセンターうたり)	可決
他その 総 市営土地改良事業(東ヶ谷地区)の施行について	可決	大江地区の農業用ため池耐震改修工事を実施するもの。
条 例	- 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決
	- 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決
決議 意見書	- 議案第68号指定管理者の指定について(牧之原市総合観光センター)に対する附帯決議	可決
	- 原発事故避難者に対する住宅支援についての意見書	可決
	- 耕作放棄地解消及び農家へのより一層の支援策を求める意見書	可決

総… 総務建設委員会へ付託された議案 文… 文教厚生委員会へ付託された議案

議案に対する 主な質疑・討論

**平成28年度
一般会計補正予算
(第4号)**

子育て支援連携システムについて

システム導入業務132万9000円増額

『まきはぐ』に追加される機能「市民記者投稿支援システム」の詳細は(平口)

市民記者を募り、子育てに有益な情報を投稿していただく。1件1000円の謝礼をお支払いするほか、管理運営に年80万円が掛かる。

橋梁銘板等修復工事について

橋梁銘板等修復工事140万円増額

犯罪行為により発生した修復工事費用を補正予算で措置することの正当性と緊急性は(大石健)

必要と判断した。今後、道路等の修復で緊急を要するような箇所があれば同様に対処する。



盗難被害にあった坂部区内の「橋梁銘板」

市職員・特別職の給与を改正する条例を可決

臨時会

11月28日

提出件数				
議案(予算)	議案(条例)	議案(その他)	諮問	専決
1	2	1	—	—
認定	同意	報告	議員議案	請願決議意見書
—	—	—	1	—

臨時会では、議案4件が提出され、すべて原案どおり可決されました。主なものでは、民間企業との給与格差を埋めるための国家公務員への人事院勧告に伴い、市職員・特別職の給与を引き上げる条例(引き上げ額は下表参照)などでした。

また議員発議により、議員の期末手当の支給月数を引き上げる条例が提出され、可決されました。

件名	結果	概要
子補正 議案(予算) - 平成28年度一般会計補正予算(第3号)	可決	給与に関する条例改正に伴い、予算の組み替えを行うもの。予算額は変更なし。
条 例	- 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決
	- 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決
契約	- 大江地区防災公園整備工事請負契約の一部変更について	可決
発議 議員	- 牧之原市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決

※臨時会では委員会付託された議案はありませんでした。

議案に対する 主な質疑・討論

**平成28年度
一般会計補正予算
(第3号)**

職員の給与等及び特別職の期末手当増額について、報酬審議会の意見はどのようなものか(大石和)

特別職についてのみの意見は「0.1カ月上げること」は妥当。その役割や職責の重さなどに見合ったもの」との答申である。(藤野)

牧之原市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告は国家公務員を対象としたものであり、地方議員の期末手当引き上げを勧告したものではない。市の財政に多くの余裕がある訳ではなく「便乗引上げ」のようなことをするべきではない。(藤野)

賛否が分かれた議案の採決結果	結果	議員名																
		平口	大石健	藤野	大井	名波喜	植田	村田	澤田	鈴木	太田	本杉	小杉	名波富	大石和	中野	良知	
[議案第56号] 平成28年度牧之原市一般会計補正予算(第3号)	認定	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
[発議第4号] 牧之原市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※良知議員は議長のため、採決には加わらない。

委員会の主な審査内容

総務建設委員会 (委員長 大石 和央) 12/13開催

いじめ問題対策連絡協議会等設置条例の制定について

Q 委員を25人とする妥当性は。PTA役員も含まれるのか。開催頻度は(平口)

A 情報を共有し、連携を高めるため他の自治体よりも多い人数。学校関係、保護者や民生児童委員などで構成。頻度は年2回程度。

指定管理者の指定について(牧之原市立坂部保育園)

Q 税金で設置された複数の施設を、一部の民間法人に偏って指定管理することの公平性について
の考えは (太田)

A 指定管理者選定委員会の決定に沿って議案を提出するというのが、最も公平・公正であり妥当と考える。



Q 2法人の運営能力を認めているのに、3園目も同法人に委託させる政策判断は何か (大石和)

A いずれかの法人を指定管理者として選定するには、点数化により客観的に評価された。



牧之原市立坂部保育園

【討 論】

公立保育園を一部の事業者に独占的に指定管理させることを、議会が認めるかが問われている。

建築費の総額が15億円余という真新しい保育園3園を、1つの法人に独占的に民間委託することは認めるべきではない。
(太田)

どのような政策的判断かを質したが、答弁がな

い。市長・当局は完全民間化につながる委託について、政策・方針を明確にすべき。複数の法人による多様な保育の展開で、インクルーシブな保育を目指すことが重要である。
(大石和)

【賛成】

第三者委員会からの答申を採用した市当局からの提案を、途中経過では静観していたにもかかわらず、最後の最後の議決・承認の段階になって議会が否定することは、合法性がなく公平性、中立性を著しく欠く行為である。
(大井)

過去に議会自ら定めた条例と客観的な数値評価に則った答申の否定は、議会制民主主義を揺るがす暴挙。1法人による複数の施設管理が倫理的に問題ならば、議会はいつでも再考を促すことができた。規制さえもできた。
(大石健)

賛否が分かれた議案の採決結果

	結 果	平 口	大石 健	藤 野	大 井	名波 喜	植 田	村 田	澤 田	鈴 木	太 田	本 杉	小 杉	名波 富	大石 和	中 野	良 知
○：賛成 (7人) ●：反対 (8人)																	
[議案第67号] 指定管理者の指定について (牧之原市立坂部保育園)	否決	●	○	●	○	●	○	○	○	●	●	●	●	○	●	○	—

※良知議員は議長のため、採決には加わらない。

○静岡県市町総合事務組合規約の一部変更について
○指定金融機関の指定について
○指定管理者の指定について (総合観光センター)
○土地改良事業(東ヶ谷池地区)の施行について

指定金融機関の指定について

Q スルガ銀行に人件費、物件費、その他各種手数料をいくら支払ったか。また、来年度以降の静岡銀行への支払いは

A 手数料として、108万円の他、現金輸送として月額6万7000円+消費税分の手数を払っている。また静岡銀行においても同額で行ってもらうことで進めている。

討論はなく、全員賛成で可決されました。

指定管理者の指定について (総合観光センター)

Q 審査結果では指定管理者として能力を有するとなつてはいるが、附帯条件が7項目も付いている。この原因は何か

A 原因としては、事務局長がないということ。事務局長については、まずは観光協会事務局で選任することを、今後も協会に対して要請していく。

Q (附帯条件履行について)担当課の定期、不定期のモニタリングはどれぐらいのスパンを考えているのか

A 附帯条件が7項目あるが、もう少し細かく20項目程度にする。それを今年度中に行わなければいけないものと、少なくとも来年度中までというものに分け、月1回不定期でモニタリングをする予定である。

Q (指定管理の答申で)今まで附帯条件は見たことがない。内容も基本的なこと。協会職員が頑張っても手がつけられない部分があるのではないかと。市長、副市長は問題意識を持っているのか

A 市長が答申を受け取った席に副市長もおり、両名とも「これでは困る」という認識は持っている。しっかりやってもらうよう指導する意識はあると思う。

【議員問討議】

・観光協会には皆、問題意識を持っており、これだけの附帯条件が付いている中で指定することは厳しい。これを、委員会または議会としてしっかり履行されるように後押しする意味で、附帯決議を付けたらどうか。

・観光協会が良くなって欲しいという期待、願望がある。世間の目でもしっかり監視する意味でも、附帯決議を付けて多くの方にまずは知ってもらい、観光協会も襟を正してもらうことが必要である。

・現在不在の事務局長を、市から派遣し、責任を持たせたらどうか。現状の観光協会ではこれ以上改善が望めないなら、附帯決議を付け、市が監督することが必要である。

討論はなく、全員賛成で可決され、附帯決議を付すことで決定しました。

他の2議案については、質疑・討論なく、全員賛成で可決されました。



観光物産センターよってけ市

委員会の主な審査内容

- 税条例の一部を改正する条例について
- 国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
- いじめ問題対策連絡協議会等設置条例の制定について
- いじめ問題再調査委員会条例の制定について
- 指定管理者の指定について (牧之原市立坂部保育園)
- 指定管理者の指定の期間の変更について (デイスリーブセンターうたり)

指定管理者の指定について (牧之原市立坂部保育園)

Q 2法人とも指定管理者の選定基準により評価されたが、委託先が偏っているのか。議会と十分協議し詰っていない

A より良い保育が可能な法人を選定するのが一番大事。募集要項、スケジュール等説明し、今回は児童福祉施設も応募できるような要項を改正したことも説明している。

Q 参加法人が増加するよう実施するべきでは

A 募集要項に該当する市内法人は、4幼稚園、1保育園、1児童福祉施設の計6法人で、複数参加すると思っていた。市内業者育成の意味で市内に限定した募集要項とした。

Q 指定管理が拡大する弊害は

A 財政面は1園でも4園でも栄養士や事務長の必要性は変わらない。選定委員が現地調査をする中で判断したと理解している。

Q 何度か選定されなかった法人へのケアは。相良の園は相良の法人、榛原は榛原となっているが

A お互い十分能力がある中で、選定は点数評価となる。地区という点も選定委員会の中では出ていない。客観的な評価基準に基づいて評価された。幼稚園は児童教育に力を入れ、保育園は心を育てることで実施している。今までの保育を継続できるかも含め、採点がされていると思う。

〔議員間討議〕
・ 複数回選定されなかったのはその法人の評価につながる。
・ 一定のルールに基づいて選定委員会が評価し、公表する方法を実施している以上、順位の低い法人を採用するとなれば、責任も大きくなる。

・ ポイントをつけて評価しているので、細かいポイント制で納得いくような制度の改革が必要。
・ 公がやるよりも費用対効果があるという大義名分があるので、今回の結論を覆すだけの根拠は足りないと感じる。
・ これはプロポーザル方式で、行政で決めてしまうと様々な問題がある。客観的な数字を出して公平に行うもの。
・ 数年おきに1園ずつの募集は偏ることになる。複数同時に募集すれば、競争原理も働く。
・ 議会が結論を出す前に、選定委員会の答申により行政が決定したという話が流れている。これ

が本当なら議会軽視ではないか。

〔討 論〕
〔賛成〕
質疑の中で不明な点が多々ある。そういう中で偏っているのではと感じる。当局から幼稚園、保育園は違いがあるという発言があった。そういった点も含め、納得できない部分があり反対する。

〔賛成〕
議案として上がってくるまでの経緯、募集要項により応募された2事業者、現時点の一定のルールに従った選定方法に基づき、選定委員会からの答申を受け、客観的な判断に基づいた榛原学園の選定は妥当である。

P4)
採決の結果、賛成多数で可決されました。(本会議での採決結果は

他の5議案については、討論はなく、全員賛成で可決されました。(質疑等は会議録をご覧ください)

指定管理者の指定について (牧之原市総合観光センター) に対する附帯決議

附帯決議…議決に当たって付随して付けられる意見または要望。事実上の議会の意思となる。

要 旨

今回の公募によらない選定において指定管理者選定委員会から7項目にもわたる附帯条件が示されたことは、尋常ではなく大変危惧するものである。

観光立市を目指すためには観光協会の果たす役割は大きいことから、選定委員会からの附帯条件を確実に履行させるため、特に下記事項について市は毅然とした態度で指導すること。

- 1 管理責任者としての事務局長を早急に採用させるとともに、その職務権限についても会則等に明記するなど明らかにさせること。
- 2 附帯条件については、期限を定めて確実に履行させること。

意見書

衆参両議長・内閣総理大臣らに提出しました。

決議・意見書の全文は

牧之原市議会

「原発事故避難者に対する住宅支援についての意見書」

要 旨

避難者の生活の最も重要な基盤となる住宅への支援策は、本来、生存権を定めた憲法で保障されるものである。政府及び福島県においては、被災者に寄り添うとともに、次の事項について強く要望する。

- 1 原発事故による避難者向けの公営住宅や民間賃貸などの無償住宅支援の延長を行うこと。また、現在の入居者に対して平成28年度末で退去を迫らないこと。
- 2 原発事故による被災者が避難を選択する権利を有することを認め、そのための国の責任を定めた、「原発事故子ども・被災者支援法」を遵守し、同法に基づく抜本的・継続的な住宅支援制度を確立すること。

「耕作放棄地解消及び農家へのより一層の支援策を求める意見書」

要 旨

農業振興が食料自給体制の維持・向上に不可欠であるとともに地域活性化の要でもあることから、その持続的な経営維持・発展のため課題の解決に向けた対策を講じる必要がある。次の事項について強く要望する。

- 1 耕作放棄地の解消や基盤整備等に対する施策を積極的に推進し、耕作放棄地再生利用対策等の拡充強化を図ること。
- 2 農業の持続可能な発展に向け、地域の実情にあった農業振興対策のための安定した財源の確保に努め、農業所得向上のために小規模農家に対する支援策も充実・強化すること。

提言書 を市長へ提出！

文教厚生委員会 所管（12月2日提出）

子育て支援について（要旨）

市では、「第2次牧之原市総合計画」及び「第2次健やかプランまきのはら」により、地域子育て支援事業の充実と、子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを社会全体で支援する環境の整備に積極的に取り組んでいます。

しかしながら、調査研究を進めた結果、これらの施策について、いくつかの課題が見えてきました。

よって、文教厚生委員会では、市の最重要課題であります「すべての子どもが安心して健やかに成長できる牧之原市」を目指すため、「子育て支援について」意見をまとめましたので、次のとおり提言いたします。

（1） 専門スタッフの確保

子育て支援事業を推進するうえで、指導や相談などの体制整備が重要である。保育士、保健師、臨床心理士不足により事業が計画的に推進できていない現状が見受けられることから、専門スタッフの適正な人数を確保し、体制強化を図ること。

（2） 子育て支援施策の周知

子育て支援事業は充実しているものと認識しているが、市民への周知が徹底していないように見受けられる。このことから、施策内容が容易に閲覧できるような資料など作成し、積極的に周知を図ること。

（3） 安心して働ける環境づくり

子どもの病気など、仕事と子育ての両立を図る取り組みが子育て世代にとって必要である。安心して働ける環境づくりが重要であることから、病児・病後児保育及び休日保育を推進すること。

（4） 出産環境の整備

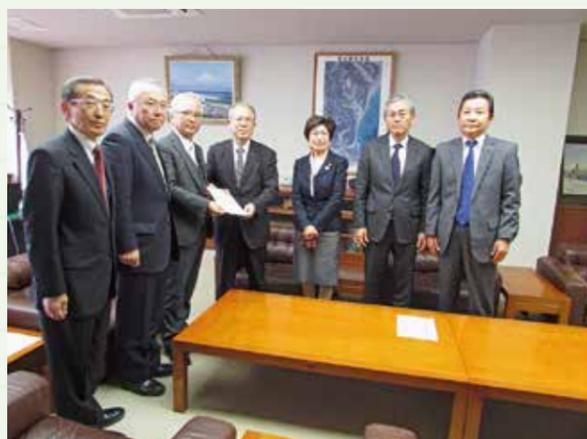
赤ちゃんを産むための病院がない現状を踏まえ、産める環境整備として産科医、助産師の確保を図ること。また、助産師と医院・病院との連携や助産院の開業を促す施策を検討すること。

（5） 子どもが楽しめる居場所づくり

子どもが楽しめる施設として児童館や子育て支援センターがあるが、その更なる利用促進など充実を図ること。

また、公共施設など既存施設を活用した子どもが楽しめる居場所を確保すること。

市内遊び場マップなど子どもが楽しめる施設の一覧を作成し、市民への周知を図ること。



提言書について

平成27年11月より両常任委員会が所管事項として調査していた項目について、調査結果を踏まえ、市長へ提言したものです。今後は新たな課題について調査していきます。

総務建設委員会 所管（12月22日提出）

耕作放棄地対策について（要旨）

市において、全体農地面積に占める耕作放棄地の割合は約4.4%（平成28年11月現在）であり、年々増加傾向にある。ことに茶園の耕作放棄をもたらしている原因は、近年の茶価の低迷、農家の高齢化及び後継者不足である。これらの打開策は容易ではないが、「新たな食料・農業・農村基本計画」（農林水産省）の具体的な実現が要求される。

市は適切な茶園面積を決定し、傾斜地は山林等に戻すのかの判断をするとともに、耕作放棄地の発生防止・解消等の総合的な支援体制を構築する必要がある。

今後においては、市の茶業振興計画に沿って計画的に進めるとともに、その進捗状況も公表していくことが必要である。また、これからの営農継続及び新規就農においては、農家所得の向上が重要であり、持続可能な農業経営には、新たな農業振興施策及び六次産業化の展開、条例等の整備が求められる。

（1） 市内には茶園の耕作放棄地が点在している。それは、未整備の区画で作業効率が悪いことが大きな原因の一つとしてあげられる。対策としては、大型機械導入による効率化を図るために、面的集積及び基盤整備をすることが必要である。また、隣接茶園を優先的に貸借できる仕組みづくりや農地中間管理機構の利用を積極的に図ること。

（2） 持続可能な営農には、茶園の改植、基盤整備、耕作放棄地再生等の事業において、包括的な支援が必要であり、その中でも充実した補助制度が不可欠である。

また、耕作放棄地（白農地を含む）となりやすい小規模農家への支援も含め、基盤整備・改植・転換作物のための市単独補助制度の創設を検討すること。

（3） 耕作放棄地の解消には現状では限界がある。茶園の利活用において、耕作が非効率な傾斜地については、市が責任を持って地目変更や非農地用途への転用を検討する必要がある。

（4） 農村の活力を高めるためには、生産者・消費者・行政・法人の連携は重要である。とりわけ、市とハイナン農業協同組合との連携強化を図るために、農業振興について協議する場として「専門委員会」の設置を求める。

（5） 農業と食の重要性及び地産地消を鑑みて、生産者と消費者とを結ぶ直販所への支援や設置を図り、小規模農家を含む生産者の生産意欲を高めることが必要である。また、貸し農園・市民農園を開設することで、農業の活力を市民で作り出していくことが要請される。



問 新市建設計画の進捗状況は

答 計画で描いたまちの実現に努力

市民が積極的にまちづくりに参画し、知恵を出し、行政と協働していくことを基本方針とした「新市建設計画」が策定され10年が経過した。

当計画においては、まちづくりの基本理念を「幸福実現都市」として、市民一人ひとりがそれぞれの価値観に応じた「しあわせ」を実現していくことができるような社会づくりを進めていくこととしている。

問 計画における主要施策の進捗状況は

答 「みんなが主役、想いが実現するまち」について、自治会組織のあり方の検討や自治基本条例により絆づくり事業を実施。「支えあい学びあ



大井 俊彦

う幸せのまち」について、子どもを産み育てやすい環境づくりや地域で子どもを育てる仕組みの構築を進めてきた。「知恵や技術を活かした活力あるまち」について、交通インフラを活かした企業誘致や、空港を活用したイベントの実施、美しい海岸など恵まれた資源を活かした観光振興を推進してきた。「うみ・そら・みどり」と共生するまち」について津波防災まちづくりの推進、光ファイバ網の整備など情報基盤の整備、さらに、市民が自然と共生するまちを目指している。

問 計画を進めるうえで課題や問題点は

答 リーマンショックや東日本大震災などが発生

問 計画実現に向けての取り組みは

答 第2次牧之原市総合計画の重点プロジェクトを着実に実施することにより、計画で描いたまちの実現に努力していく。

新市建設の基本方針

(平成17年制定)

基本理念

幸福実現都市

新市の将来像

ふれあいビタミンあいのまち

～うみ・そら・みどりと共に生きる～

問 生活困窮者自立支援法への対応は

答 生活保護受給前の支援策の強化

問 支援策強化を図るための取り組みは

答 必須事業である「自立相談支援事業」と「住居確保給付金給付事業」を実施し、自立支援策の強化を図っている。

問 制度の内容の市民への周知は

答 広報、全戸へのリーフレット回覧、民生委員への説明など積極的な情報提供に努めている。

動画配信中!

白熱の論戦! 全内容をご覧になるには...

検索

平成28年第5回 12月定例会「一般質問」

1. 大井 俊彦

2. 大石 健司

クリック!

問 2020年東京五輪のサーフィン競技開催地は、下馬評通り千葉県一宮町に決定した。9月議会一般質問での「12月まで全力を尽くす」との答弁以降、市が行った具体的な招致活動は

答 米国のベテランサーフボード職人を招致委員会に招き、市の取り組みを説明し、活動への協力について快諾いただいた。9月に市内で開催された公式大会でも、全国各地からの競技者にPR活動を行った。事前合宿の「ホストタウン登録申請」は、継続審査となった。

問 全然足りないとは思わないのか。ポルト会場の選定で日本中があれほどの大騒ぎになったのに、ウエーブプールの追加情報も、ついに1度も出なかった

答 ポルトと違い、静岡県知事が招致に乗り気であ

なかった。プールの構想は、事業者と連携して現在も進めている。

問 市長の宣言した「沿岸部の活力を取り戻すサーフィンやビーチスポートやマリネジャーなどの魅力発信や新たな観光まちづくり」の進捗状況は

答 11月からマリンスポーツや沿岸で生活されている市民と意見交換会を行い、15キロの海岸線のゾーニングやそれぞれの特性を引き立てる活性化計画を作成する。

問 その会議を傍聴したが、がっかりした。今か

ら参加者全員に、海岸線の特徴や理想の姿をお聞きして、どうやって来年度からの構想に反映させるのか。まずは市が旗を立て、計画を策定した上で意見を聞くべきではないのか。

問 「相良グラウンドの芝生化」は決まったが、市内各地のグラウンドや体育館に観客席を改修や増設しなければ、若者の市外への流出は止まらないのでは

答 市民のスポーツ振興を中心に設置しているのを、現在施設改修の計画はない。

問 「勝間田川のちの森」の今後は

答 「緑の防潮堤」の機能を果たす

問 2014年3月に勝間田川河口に市内外のボランティアが14種類300本の雑木の苗木を植

問 継続的に観測し、将来の防潮堤構想のためのデータを残さなければ、何の意味もない

答 今後は管理の手間はない。十数年後には特定の樹種だけが残り「緑の防潮堤」の機能を果たす。

答 そういう考えでいきたい。

大石 健司

問 五輪招致に全力を尽くしたのか

答 県知事が協力的ではなかった



新年を迎えても庁舎入口にはサーフィン開催地誘致の立看板が掲げられていた

一般質問

問 相良公民館閉館で、今後の対応は

答 具体的な対策を進めていきたい

社会教育事業の一環として公民館活動を積極的に行い、地域の連携を図ってきた「相良公民館」は突如閉館の決定が出された。生涯学習、絆づくりを推進する市において、代替案もなく唯一の活動拠点を閉鎖することに多くの利用者の驚きと、失われる活動拠点への不満の声が市民に広まっている。

のか

答 公共施設マネジメント基本計画での公民館を含むコミュニティ施設の方針は、地区が主体的に取り組みまちづくりの拠点として位置づけている。今後は、施設ごとの

個別計画を立て検討を進めていく。

問 新年度の活動に向けて、施設利用者の活動場所は100%調整できるのか

答 田沼塾開催に係る84講座の会場はほぼ決まったが、他サークルではもう少し調整が必要である。概ね調整は進んでいると解釈している。

問 生涯学習・地域づくりを推進する中において公民館活動をどう考えているのか

答 公民館の枠にとらわれることなく、市民の参画・参加をより一層促進して、新たな拠点づくりを進める。公民館のあり方や今後の方向性、新たな活動拠点となる施設を活用した生涯学習の振興、地域づくりの推進方法などについて、早急に検討していきたい。



名波 喜久

問 施設の耐震不足を把握していた中において、現在まで何の対策もなく放置し、廃館ありきの計画であったのか。また災害時指定避難所でもあり、代替対策の考えはなかったのか

答 平成23年度に改修計画の策定を委託実施したが、耐震化工事費として



平成29年3月末で閉館する相良公民館

動画配信中！

白熱の論戦！全内容をご覧になるには…

牧之原市 議会中継 検索

平成28年第5回12月定例会「一般質問」

3. 名波 喜久

4. 村田 博英

クリック!

クリック!

村田 博英



問 榛原総合病院の問題点を伺う



心配される榛原総合病院

問 医師不足の現状は改善されているのか。また今後の見通しは

答 本年度に入ってから新たに皮膚科と眼科が再開され、精神科が3日から4日に増えた。また産婦人科と脳神経外科の診療日も2日から3日に増えるなど徐々にではあるが改善している。

問 県広域医療体制における榛原総合病院の位置付けは

答 志太榛原圏に属し、島田、藤枝、焼津の市立3病院と連携する地域の基幹病院として位置付けられており、地域医療の拠点病院として欠くことができない存在である。

問 榛原医師会との連携についてはどうか

答 病院と開業医、介護関係者との連携により、訪問看護や居宅療養指導など榛原医師会と共に協力して進めている。

問 医療法人沖縄徳洲会は過去に公選法違反や、都知事選挙の金銭問題が発覚し、特定医療法人の資格を外されて以降の、特定医療法人としての免税優遇措置がなくなった。最近の経営状態は問題ないか伺う

答 医療法人沖縄徳洲会は過去に公選法違反や、都知事選挙の金銭問題が発覚し、特定医療法人の資格を外されて以降の、特定医療法人としての免税優遇措置がなくなった。最近の経営状態は問題ないか伺う

答 一連の問題発生以降、体制を立て直している。経営の状況についても報告諸表を見る限り問題はないと判断している。

問 事業計画はどのようになっているか

答 事業計画が抽象的であり具体的な向け経済効果も図れない、企業会計的に見ても問題がある、経営者に理解できる内容にすべきである

問 MIJBCの進捗状況を伺う

答 対日投資促進事業(MIJBC)の方針は理解できるが、具体的な中身を伺いたい。

問 市長の行政報告の中で仕事の具体的な引き合いが2、3あると発言されたがそれは何か

答 在日中国大使夫人などから紹介された投資団体や経済団体と協議を重ねている。

問 本事業の経済効果はどのくらいか

答 本事業での来日人数計778人、27年の1.8倍であり、宿泊、食事、土産等で1400万円の効果が見込める。(前年の1.9倍)

一般質問

問 鳥獣被害対策実施隊が必要では

答 猟友会など関係者にはかりたい

平成20年2月に「鳥獣被害防止特別措置法」が施行された。市内でも鳥獣被害が増加し、その対策について質問した。

問 鳥獣被害の現状と鳥獣の生息状況はどのように把握しているか

答 被害農家からの相談・報告として、稲、果樹、野菜、イモ類で、年間数[㊦]、金額で10〜20万円程度であるが、これ以外にも相当数あると考えている。生息数は把握できていない。

問 鳥獣被害対策協議会の活動と取り組みはどのようなものか

答 市鳥獣被害防止計画についての意見聴取や対策内容の検討などを行っている。

ている。今後は効果的な被害防止対策の検討をしていく。

問 特にイノシシ被害が拡大しているが、対策ののんびり過ぎないか。「特措法」では鳥獣被害対策実施隊の設置が可能だが、これを活用して実践的に行ったらどうか

答 対策協議会で今後の対応方法について検討させていただく。

問 自衛手段としての電気柵などの設置補助金を設けてほしい

答 電柵器の購入助成については、JAハイナンが購入金額の15%または2万円を上限とした助成をしている。利用者にとっての利便性を考慮し、国



早期の鳥獣被害対策を

問 鳥獣被害喚起のためにもジビエを普及させる取り組みが必要ではないか

答 狩猟肉については猟友会員で自家消費されている。今後、ジビエについて採算性など考慮していかなければならない。

問 野良猫対策しっかり取り組んで

答 地域猫活動で対応したい

問 長年、野良猫に困っている市民から相談があった。市はどのように対応しているか

答 猫捕獲檻の貸出しや飼い主のいない猫の不妊・去勢手術の助成などの取り組みをしている。

問 それだけでは解決できないのではないか

答 トラブルの関係者や町内会と市、ボランティアも入れて話し合いの機会を持ちたい。



的「まちづくり計画」を策定する。

問 将来の「まちづくり計画」の姿像は庁舎施設が核となるか

答 まちづくりの問題との認識で取り組む。

これらの計画が一体化した将来を見据えた目に見える「まちづくり計画」を策定し作成することが必要ではないか

答 当計画は除却債確保のため作成した。体系的には都市建設計画に基づく第2次総合計画などを前提としているが、各計画が連携した総合

問 20年後に公共施設の総床面積を約20%削減として、4年間の具体的計画が示されている。これは施設運営や長寿命化の取り組み結果により計画されたものか、20%を前提として計画したものか

答 約20%削減は、更新経費、財政面から見た目標であるが、

①個別施設毎に効率・効果的な施設運営と長寿命化、複合化、転用などを検討し、機能充実を図る。
②市民参加により、利用者の視点を踏まえ取り組む。



明るい未来に向けたまちづくりを

動画配信中！

白熱の論戦！全内容をご覧になるには…

牧之原市 議会中継 **検索**

平成28年第5回 12月定例会「一般質問」

5. 大石 和央

6. 植田 博巳

クリック!

クリック!

公共施設の老朽化や人口減少などを見据え施設を効率的・効果的に維持し、更新や機能増強、新規整備計画と財源見通しを立てる資産管理計画

(アセットマネジメント)が昨年10月に示された。この計画には庁舎、文化、学校、公民館施設など11の建物施設の方向性が示され、20年後に約20%を削減するとしている。市民の利用する施設などの削減が計画されていることから、計画の進め方について質問した。

問 相良中央公民館の突然の閉館では「牧之原市政への市民参加に関する条例」の市民参加手続きが取られていない。今後の施設計画における市民参加手続きはどのような方法によるのか。また、実施の時期は

答 中央公民館の閉館は、熊本地震での未耐震公共施設の危険性から、市民参加条例の規定による緊急措置として実施した。

対象施設、事項の性質、影響、市民の関心度を考慮し、2つ以上の市民参加方法により適切な時期

問 アセットマネジメント計画は、第2次総合計画、都市計画マスタープランと連携していない。

植田 博巳



大石 和央



問 公共施設の資産管理計画の進め方

答 まちづくり計画を策定し進める

問 安定ヨウ素剤の配布を市内全域に

市は28年10月から11月にかけて、PAZ圏内(半径5km圏)の住民に原発事故時に備え、安定ヨウ素剤の事前配布を行った。圏内13600人の対象者の、約70%に配布されたとの報告があった。

問 県に要望している市内全域への事前配布の具休化や、他市町からの通勤・通学者への対応はどう進めるか

答 PAZ圏内以外の事前配布は認められていないが、他地域の動向を踏まえ、今後も原子力災害対策指針等の改正を含め、市内全域の事前配布が可能となるよう要望している。

問 3歳未満の乳幼児への配布について伺う

答 今年度製造・販売開始のゼリー状の薬剤を配布することで県と調整中である。配布時期は今回の対象の未配布者への追加説明会に合わせ実施の予定。

問 原発事故時のUPZ圏内(半径30km圏)の安定ヨウ素剤の配布はどのような対応とするか



安定ヨウ素剤の配布を市内全域へ

答 現在、庁舎、小中学校、公民館など21か所に丸薬52万1000丸等を集中することなく分散して配備している。緊急時の配布、服用指示は避難行動中という制約を伴い、厳しい状況下となるので、市内全域への事前配布が必要である。配布計画は県や国の制度の具体化により検討していく。

問 坂口谷川水門と寄子に避難施設を

答 県は坂口谷川水系の河川整備計画原案により「河口の水門建設の確保」を示している。また、寄子地区の避難設備も地元住民から要望されている。

問 水門建設計画の具体化はされているか

答 県の計画については平成28年12月末、国の同意決定が予定されている。すでに県は詳細設計を進めている。29年1月から資材搬入のための仮設道路を建設、同年11月から本体工事、平成34年完成を予定している。全体事業費は約40億円。

問 25年度版津波防災まちづくり戦略プランは、現在も計画として継続案件とされているのか

答 継続されていない。平成31年以降の中長期計画の中では、照明灯等の設置をする第2期計画となる。

問 細江寄子地区に津波避難タワー・いのち山の建設の要望があるが、市はその計画があるか

問 東京と牧之原が乗り換えなしのバス直行便で繋がった。「観光立市」を標榜する牧之原市の今後の抱負、未来像は

答 計画をぜひ冊子化し、市内外、また意欲ある事業者のかたにも広く周知すべき

答 結果を報告書として出すことは考えている。形骸化しないようにしっかりお示しできるものをつくっていききたい。

答 東京と組んで大勢の皆さんにきていただくチャンスだ。漁港もうまい活用があるだろうし、民間も頑張っていたい。行政は法律とかうるさいことを取っ払うのが仕事。前面に立って一生懸命やっていきたい。

問 津波対策L1防潮堤建設事業は、わが市の観光資源を損ねないか。市として無策で話し合いの場に座るべきではない

答 現在検討していない。数量は把握していないが過去にはある。今冬も運ぶ計画はある。

問 年8万m³の土砂移動が見込める県の事業「サンドバイパスシステム」の誘致は。また堆積砂陸送の実績は

答 津波対策L1防潮堤建設事業は、わが市の観光資源を損ねないか。市として無策で話し合いの場に座るべきではない

問 サンフランシスコのフィッシャーマンズワーフや、あるいはマリブピアのような大きなコンセプトも計画可能か。大きな絵図はなかなか民間だけでは描けない

答 「沿岸部活性化計画」の中で考えられるのでは。



自然・景観を保全しつつ、人気観光スポット創出も(※イメージ写真)

動画配信中!

白熱の論戦! 全内容をご覧になるには...

牧之原市 議会中継 検索

平成28年第5回 12月定例会「一般質問」

- 7. 藤野 守
8. 平口 朋彦

平口 朋彦



わが市の宝の1つは、誰が何と言っても「海」。観光は大事な基幹産業であり、市の海岸線全てが貴重なリソース(資源)である。適切に維持・保全し、将来に繋げていかねばならない。

問 15km²におよぶ海岸、その将来像は

問 ここ数十年で砂浜の浸食が一気に進んでいる現状と対策は

答 平成7年から始まった汀線の調査では、20年間で前進している部分が最大で70%、後退している部分は最大50%。突堤や潜堤、養浜などさまざまな対応を講じているので、砂浜がなくなることはない。

問 砂浜の回復も防潮堤建設の中で計画している。観光資源が損なわれないような整備を国、県と協議していく。

問 賑わいを取り戻すためにはブランド戦略も大事だ

問 マーケティングに基づいた戦略策定が不可欠。昨年より基礎・実態調査をしている。またワーキンググループによる「沿岸部活性化計画」の策定作業の中で、コンセプトを検討しシーサイドパークや港などの周辺施設もあわせ計画づくりをする。

問 津波対策L1防潮堤建設事業は、わが市の観光資源を損ねないか。市として無策で話し合いの場に座るべきではない

答 「沿岸部活性化計画」の中で考えられるのでは。



学生からも多くの意見が出された

市と静岡県立大学は2014年5月に「牧之原市と静岡県立大学との包括連携協定」を結び、協力内容はまちづくりや地域防災など多岐にわたっています。これに基づいて委員会では、委員会テーマである「魅力あるまちづくり」の政策提言に向けた活動の一環として大学生との市民会議を実施しました。

(団体) 静岡県立大学生
(日時) 平成29年1月24日(火)

総務建設委員会

一般質問はパソコンやスマートフォンからでもご覧になれます!!

牧之原市議会では、一般質問の録画映像を配信しています。普段、傍聴に来られない方なども、いつでも気軽にご覧いただけます。

議場での一般質問の雰囲気ぜひ1度味わってみてください!

※録画映像は、一般質問終了後1週間程度で配信します。

牧之原市議会

検索

または



← アクセス



地域資源の1つであるお茶

目的は、地域資源(自然・文化・食など)を活用し、牧之原市の魅力を情報発信して、多くの人に市へ来てもらうための手がかりを得ようとしたものです。当日は議員8名、学生8名がそれぞれ2グループに分かれ、「どのような農村ならば、あなたは暮らしやすいか、夢が持てると思いますか。」など3つの項目で、和やかに有意義な意見交換を行いました。



市民から生の声を聞く!

～市議会では各種団体と意見交換を積極的に実施しています～

市民会議

総務建設委員会

(団体) ハイナン農業協同組合
(日時) 平成28年11月4日(金)

総務建設委員会は調査・研究テーマを「耕作放棄地対策について」としており、今回の市民会議は、放棄地対策とその関連の事柄についてJAハイナンから意見を伺い、議論を深めるために企画しました。

会議では放棄地対策の観点から、まずJAから茶業の現況と課題、求められる施策等について意見や説明がありました。放棄地に関して発生要因、その解消のためには市、農協、農業関連団体の連携、市の農業政策が一層重要との指摘がありました。議会側からは次のような質問が出されました。農地の転換、農地集積の取組み、小規模農家への支援、販路やマーケットの開拓、市民農園や直販制度、六次産業、市の農業関連予算からみた行政の施策等。さらに部農会の現状、直販所の新増設、鳥獣被害の問題など多岐にわたりました。



市民会議の様子

また。議会側の質問、意見に対してJAから次期3カ年計画を基に説明がありました。施策として農地の面的集積、大型機械導入のための基盤整備、茶栽培を主体としながらも野菜類栽培による複合経営や、販売面での行政を含めた支援等があげられています。全体として今後、市をあげて農業振興への取組みが必要としています。それぞれの意見を参考に総務建設委員会では耕作放棄地対策として「提言書」にまとめ市へ提出しました。

意見交換を終えて・・・(学生より)

- 楽しく意見交換ができたと思います。交通をもっと良くした方が良いというのはいま思っているということがわかり、一番の問題だと思いました。
- 地元の議員さんに率直な意見が言える機会はめったにないので、このような機会を頂いて感謝しています。
- 最初はとても怖く感じたのですが、お話ししていくうちにどんどん自分の意見が言えました。正直楽しかったです。真剣に牧之原のことを考えて下さっているのが伝わってきました。
- せっかくの牧之原の魅力が隠れてしまっているようにも思ったので、議員と住民との立場ではなく、住民同士のあたたかい立場で接しながら話して、もっと魅力を引き出せたらいいと思った。
- 最初は議会の方でびっくりしましたが、緊張しました。でも、とても気軽に話ができよかったです。勝間田には細く長く関わるつもりなので、また行きたいです。
- 牧之原はもともと知らずの参加でしたが、知らない人でも言える議題で、みんなで意見の言いやすい場で良い会でした。
- 勝間田地区に調査でお邪魔させていただいた際に感じたことを伝えることができたかと思えます。牧之原の未来に貢献できたらと思います。
- 牧之原について知らないことだらけでしたが、私はこんなところに住みたいと思います。魅力を感じている私たちよりも、そういうのに興味がない人に聞くのが良いのではないかなと思いました。

平成29年度 議会報告会のお知らせ



市議会では下記日程で議会報告会を開催いたします。今回の議会報告会は、より市民の皆さんにわかりやすく、また気軽に議会と意見交換ができる議会報告会とするため、内容について大幅に改善していく予定です。
多くの市民の皆さまのご参加をお待ちしております。

○開催日

5月12日（金） 牧之原市史料館	5月13日（土） トーク地頭方
5月19日（金） 萩間公民館	5月20日（土） 勝間田会館
5月26日（金） 細江コミュニティセンター	5月27日（土） 榛原文化センター

○開催時間

19時～21時

※報告内容や各会場での説明者等の詳細は、各地区へ配布するチラシやホームページでお知らせします。

前回の議会報告会



チャーフィンが市議会にやってきました!!

静岡牧之原茶の Mascot のチャーフィンが、市議会のことを勉強するために議会事務局に研修にやってきました。これを機に、牧之原市議会ではこれまで以上に牧之原市のお茶とサーフィンを応援していきます!!

市議会のことわからないことばかりだけど、これからたくさん勉強して、市民の皆さんにお伝えしていくよ!

ぼくは議会だよりだけでなく、フェイスブックでもお知らせしていくから、そちらもぜひ見てね!

チャーフィン



編集後記

議会だよりが、多くの市民の皆様に愛読されることを願い、広報委員全員で頑張ってきました。早いもので、今年も4年に1度の市議会議員の選挙の年です。私たちは議員に選ばれた時の気持ちを忘れず、市民目線で残された任期を気を引き締めて頑張ります。

議会広報特別委員会

委員長 大石 健司

副委員長 藤野 守

委員 村田 博英

委員 植田 博巳

委員 大井 俊彦

委員 平口 朋彦

2月定例会の日程

2月 27日(月)	提案説明
3月 7日(火)	通告質疑
9日(木)	一般質問
10日(金)	一般質問
24日(金)	審議・採決

全日程自由に傍聴できます